

# 神谷の伝統行事について

福崎小学校 6年

家田 塔羽

# 『神谷の伝統行事について』

## ◎ 調べようと思った理由

ぼくは、7月9日日曜日に村の「夏祭り」に参加しました。天気が悪く

雨だったため予定されていた「子どもずもう」は中止になりました。

村の区長さんや役員さん達と神事(いじ)だけ行かれたのでぼくは、

子ども代表として参加してきました。

神社の中にはあぐらが食卓としてあり、神社の一番奥の扉も開けてあった。神事の

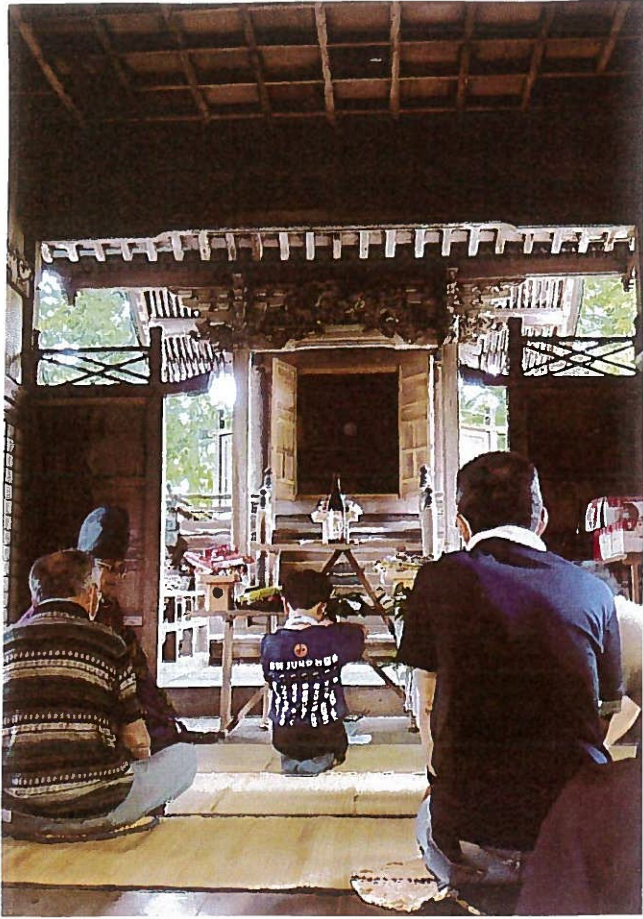
後、御洗米し御神酒を近所のおばあさんが配ってくれました。ほとんどの人が

おいさん達が昔の話をお聞かせしてくれました。びっくりするような話もあっておもしろかったです。

なのでぼくが住んでいる神谷の伝統行事を調べようと思いました。

そのため近所に住んでいる色々な年齢の方にアンケートをさせてもらって、

話を聞きに行きました。



## ◎ 夏祭り (子ども相撲・神事)

ござをしいて座った。山崎の  
神主さんが 神様が通るために  
真ん中はあける方がいいことや  
座り方を教えてくれた。  
お参りの仕方も前にしている人を見  
て覚えた。そして最後にぼくも

お参りをさせてもらった。おさきを手元でくるとまわして供えて

にれい にほくしや ひちれい  
二礼二拍手一礼 もした。(日本の神社の拝礼作法です)

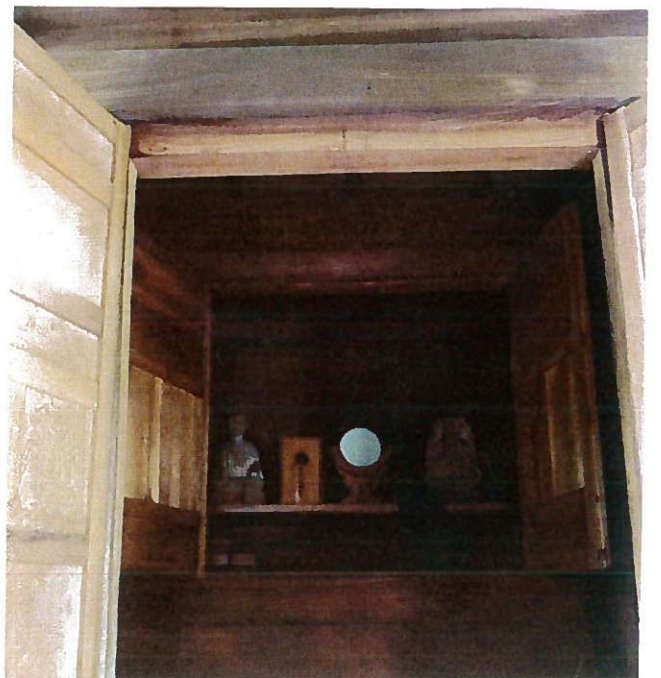
お辞儀を二度行い、二度手を叩き 最後にもう一度お辞儀を行う。

神様には 山のものとして里野菜や

海のものとして スルメ、お酒、お洗米

お菓子が供えられていた。そして神社の

奥には昔の鏡も供えられていた。



## 行事内容

7月23日に大森神社で行われる。「夏越の祓り」の一種で自社の境内などに大きな釜を据え、ササ束を持った宮司が煮えたぎる熱湯をそのササで自分の体にふりかけたり、四方にふりかけながら清めの祈禱をし、無病息災を祈る行事。祈禱が終わった後持ち寄ったタオルを釜に浸して体を拭くと夏負けや疾気いからげよといわれている。神谷区ではこの行事の後に村の子どもたちによる子ども相撲が奉納されていたようだ。

現在は、子どもずもうと神事のみされている。

## 〔村の人の話〕

- 田植えを村の人たちみんなが協力で行い、その後にみんなでお酒を飲みながらお祭り気分を味わっていたように思う。(76歳 男性)
- ずもうの取組組が年上の人が多くよく負けた。でも楽しかった。(44歳 男性)
- ずもうをとるとお金ももらえてうれしかったなあ。(70代 男性)
- 男の子が少なくなってきた。今は女の子もずもうをとるようになった。(4歳 女性)

## トンド

昔は1月13日に公民館で行われる。門松やしめ縄など  
正月飾りを火然やし。一年の無病息災を祈り厄よけを行う行事。  
近年は1月第2日曜日の夜に行われている。

\*ぼくは毎年、家族でトンドに行っています。書き初めを  
火然やして、高く火然え上がる"字が上手になる"ときいていて

高く火然え上がれ!! と思っていた。

\*友達とおもちやマヌロを焼いて食べる  
のが楽しい!! →



### 〔村の人の話〕

- 1 昔は少年団があって、中学生までの子どもたちで全て準備をしていた。  
木を組んだり、正月飾りも集めたりしていた。(76歳男性)
- ・書き初めを火然やしてそのを見ていた。(77歳女性)
- ・子供会が主体で現在は準備をしています。字がきれいになるように  
祈ったり、おもちを焼いたりして楽しんでいました。(63歳女性)
- ・昔は舟天池で火を火然やしておもちを焼いていた。(55歳男性)

## ◎ 斎火、柴火 (さいと)

2月3日に大歳神社で行われる。節分は、「神様の正月」といい、青年たちがお宮の枯れ木を集めて夜通し火をたく。夏負けしない、病気にかからないといい、うしみつ時(午前二時)にお参りする。この時、途中でだれに会っても言葉をかおさない。昔は十二トウといって 銭十二錢、米一升二合をこもで巻いた手おけに入れ、神前に供えた。(『兵庫探検』より)

近年は、青年が中心となり組織した盛年会で

うどんそばをふるまっている

{村の人の話}

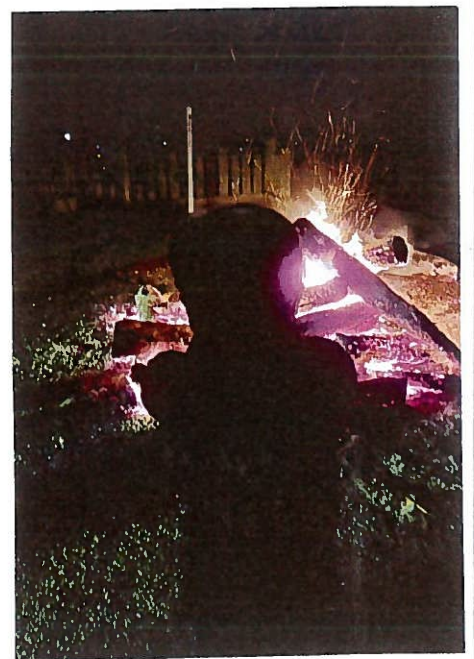
・火のまわりで遊ぶのが楽しかった。(57歳 男性)

・うどんそばがおいしかった。(17歳 男性)

・子どもから、お年寄りまでみんなが楽しめる行事。(70歳 男性)

・昔は老人会が準備をしていた。(76歳 男性)

・大人も子供も一緒に火にあたりながらうどんそばを食った。(48歳 男性)



## ◎ 初午 (はつま)

昔は 2月 11日に大歳神社で行われていた。(今は 2月 11日  
前後の日曜日に行っている。春の農事に先がけて、豊年を  
祈る 祈年祭の意味で行われている。この祭りの時には  
子ども相撲がとれるが 本来相撲は豊年の年占い  
として行われていた 競技で、現在でも神事の際に  
行われる事が多い。 神谷区の初午でも子ども相撲  
が行われる。

### 〔村の人の話〕

- ・ 1回 10円くらいもらって相撲をとった。(57歳 男性)
- ・ お宮人へのほりを立て 子どもが相撲をとった。(63歳 女性)
- ・ 子どもの頃、相撲をとった、おごかいがもらえた。(78歳 男性)
- ・ 相撲をとる度に 50円ずつもらえるのがうれしかった。(17歳 男性)

## ◎地蔵盆

8月23日に大歳神社で行われる地蔵祭(地蔵盆)は、村の入り口や  
辻にある地蔵尊を提灯などで飾り、たんじやお菓子を供えて奉る行事  
であり、もとは旧暦7月24日(新暦8月24日)が盆祭りの終りの  
日であり、それが地蔵菩薩の縁日といわれる24日と一緒にたると  
伝えられる。地蔵さんは子どもを病気や災難から守ってくれるものであり、  
この日の行事も子どもを中心としたものが多く残っている。

現在は8月23日に医王寺で読経があり、参拝したり、盛年会が中心となり  
流しおめん、消防団が中心で等村の人たちが集る行事となっている。

### [村の人の話]

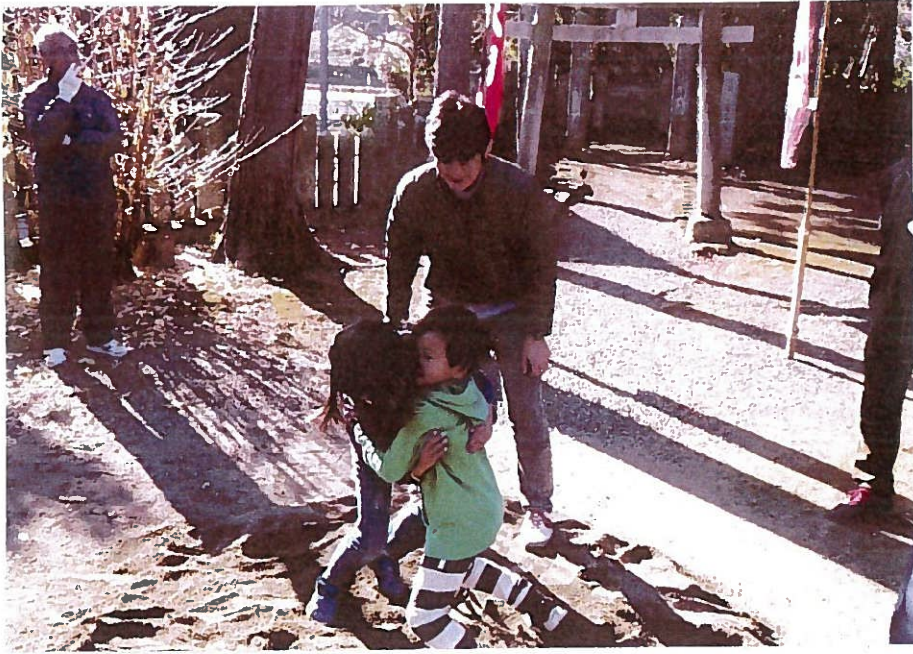
- ・花火や爆竹をして遊んでいた。(55歳 男性)
- ・村料集め(赤飯の)赤飯を参拝の人に配るなど  
少年団がしていた。提灯を階段に準備もした。(58歳 男性)
- ・提灯のろえの火の番をしながらおわり工場で夜おそく  
まで楽しく過ごしていた。(44歳 男性)
- ・昔は男の子のみでしたが、今は男女一緒に、お寺、盛年会の皆様の  
協力で流しおめんなど楽しいときです。(6歳 女性)





## ① ニジュウソ

「ニジュウソ」は旧暦11月23日に行われており、主に稲荷社を中心として行われていた。神谷区では12月17日に行われる。大歳神社お稲荷さんの前で小学生の奉納相撲が行われ、相撲をとった子に赤飯がふるまわれる。



- 1回相撲をとったら、50円もらえる。同級生や姉、年上の人には本気で相撲をとっていた。名勝負をした時には、見る人が、応援してくれたり、笑っていたり、とても楽しい。小さい子をする時はおざと負けてあげたりして自分がしてもらったようにしている。

### 〔村の人の話〕

- 、1回10円もらって相撲をとっていた。(58歳 男性)
- 、言葉の意味も含めてお年寄りにも聞く事が必要かな。(70歳 男性)
- 、いじめがよくなるからいい。昔から相撲をしている。(66歳 男性)
- 、1年最後の午の日で相撲をしている。(73歳 女性)

# ◎ 秋祭り (福崎地区)

秋祭りは、福崎地区・高岡地区の屋台 13台(布田屋根型 6台、神輿屋根型 7台)が二ッ宮神社に集り盛大に行われる。

宵宮は昼に蔵から屋台を出て村の中を練り歩き、区長宅、消防団長宅、新乗り宅等をまわる。

\*神谷は小学2年生が新乗りになる。  
新乗りの時に家に来てもらってみんなで  
ジュースやオーブンケーキを食べた。



本宮は、昼頃から宮元である山崎屋台が 12台の屋台をJR福崎駅前へ迎えに行く。福崎駅前を練り上げられた後、山崎屋台を先頭に、  
福田区→馬田区→新田区→神谷区→長野区→西治区 西谷区→高橋区→  
桜区→板坂区→田口区→駅前区の前、二ッ宮神社に宮入りをする。  
拝殿で神事が行われ、五穀豊饒が祈願された後は、馬前屋台から宮出が行われる。山崎の木方による合図で一斉に屋台が動きだし練り合わせを行う  
「13台サラバ練り」は見所である。



← 小学校の運動会が終ってから公民館で

伊勢唄の練習をします。

神谷の太鼓や伊勢唄を教えてくれる人は、  
教え方がとても上手です。だからみんなすくすくに上手になります。(2012から女の子も乗子になりました)



屋台蔵から出けたらまず  
大歳神社に行きます。  
坂道をみんなを合わせて  
登っていきます。 →



← 去年はコロナが流行していたので、刺しゅうがいてある幕をせずに村の中だけを練り歩きました。

(木村人の話)

・乗子はしどかたかど乗かたの消防団は準備から練習が大変だったの終わった後は充実感あった。(57歳 男性)

昔は駅前から屋台をかついて行っていた。(76歳 男性)

1 小さい村ですが、みんなが協力して屋台を出ています。お昼は乗子の物も足りなくなりおひか

1 中学卒業まで乗子で乗っていたの楽しかった!! (44歳 男性)

意味はわかりません。(63歳 女性)

1 昔は2年に一度屋台を出ていた青田町の真屋台を出てほしいと小学生に頼まねば区長宅にお原真いさに行き話を覚えている。(78歳 男性)

## ④ 神谷についてのまとめ

神谷は小さい村です。小学生は 9人だけです

人口は 男 72人 女 87人 合計 159人

世帯数は 65件 福崎高田校区の中で一番小さい村です

小さい村だから昔から行われていた伝統行事がたくさんありました。漢字が分からず行事

もあつたけど、ぼくは色々な人と昔の話を聞いておもしろい、楽しかった。ぼくも色々な

伝統行事を受けて、伝えていると思います。

### 〔村の人は聞いた 神谷のいいところ〕

・小さい村だからまとまりがある。 ・子ども同士仲が良く、子ども会の行事も全て楽しかった。

・この山からの村の景色が好き。 ・皆んなが皆んなを知っていて安心してくれそうです。

・他のどの村にも住みたくないと思いません。 ・お互い助け合いの気持が強く協力的である。

・小さい村の割に神社が立派。 ・神谷区の文化が継承された場所。

・少ない世帯人数があるからこの一体感! ・村民が協力あって支え合っている。

・子供の頃から色々な行事に参加出来る。他の村では体験出来ない事がたくさんあります。

＊ぼくは 神谷の伝統行事について調べて、今まで以上に 神谷の事が

小さい村だと思ったり感じる事が出来ました。

少ない色々なおみの子たちと大団圓

神谷の伝統を語りついでいきたいと思います。

思っています。



神谷アンケート

7月26日 水曜日

名前



75歳

とんど	神様にお米などがたくさんとまねるにお願い	※神谷のいいところ ・億(し)・仲(か)い(し) ・争(い)か(た)い(し)
初午(はつうま)	〃	
斎灯(さいと)	大歳神社のお祭り	
端午の節句(たngoのせっく)	お花を取ってお花をかざる。	
夏祭り【こども相撲】	神様のかかし	
地藏盆(じぞうぼん)		
にじゅうそ		
秋祭り	屋台。神様のかかし。	

神谷アンケート

7月26日 水曜日

名前



77歳

とんど	習字をやる	※神谷のいいところ ・仲(か)が(よ)い(し) ・リン(ぼ)以外の人(も) (仲(か)が(よ)い(し))
初午(はつうま)		
斎灯(さいと)	おふだ、おまもりをやる	
端午の節句(たngoのせっく)	花祭り、お礼(れい)か(の)た(く)し(ょ)い(も) (5月8日) 甘茶	
夏祭り【こども相撲】		
地藏盆(じぞうぼん)	はっ(い)く(を)い(の)る。子供(こ)が(お)に(ま)り(を)く(は)る(男)	
にじゅうそ		
秋祭り		

神谷アンケート

7月26日 水曜日

名前

55歳

とんど	昔は弁天池で火を燃やしてお餅など焼いてました。	※神谷のいいところ 小工村ですが みんな一致団結して いると思います。
初午(はつうま)	?	
斎灯(さいと)	今も同じで神社で火を燃やして習字など燃やしてました。	
端午の節句(たngoのせっく)	?	
夏祭り【こども相撲】	相撲は男の子だけの行事で女の子は相撲はしてません。	
地藏盆(じぞうぼん)	今とは違ひ花火や爆竹で遊んでました。	
にじゅうそ	?	
秋祭り	今ほど屋台は立派ではなく服装もバラバラでした。	

神谷アンケート

7月26日 水曜日

名前

63歳

とんど	1月1日	子供会主体で行ってます。字がきれいになる様祈ったり、おもちを焼いたり、楽しい時です。	※神谷のいいところ 楽しい時です。
初午(はつうま)	2月初	お宮さんへの祈りを立て子供がすもうをします(??)	
斎灯(さいと)	2/3	1年のしめくりとしてお宮さんで火をにき、村の人々といろいろな話をしています。	
端午の節句(たngoのせっく)	5/5	特に村としては行事はありません。	
夏祭り【こども相撲】	7/	お宮さんへの祈りを立て、土俵を作り子供達が相撲をします 神事あり	
地藏盆(じぞうぼん)	8/23	昔は男の子のみでしたが今は男の子に、お寺の協力、村の盛年会の皆さんの協力で流し行儀など	
にじゅうそ	12/	お宮さんへの祈りを立て、子供がすもうをします	
秋祭り	10/	小工村ですが協して屋台を出しています。お祭は乗子の親で、おにぎり、おでんが用意されています。	

神谷アンケート

7月27日 木曜日

名前



76歳

とんど	小年団が来た(昔)昔は全て子供が準備。中学を卒業してからは	※神谷のいいところ べんてん池があるところ 七福神 おみせがいろいろ 昭和5年1万円
初午(はつうま)	今と違って昔水神祭り	
斎灯(さいと)	昔より人気が準備	
端午の節句(たngoのせっく)	昔、今花まつり	
夏祭り【こども相撲】	田植の後お人などおあんなさおき	
地藏盆(じぞうぼん)	小年団の仕事昔と違って火をつけた。	
にじゅうそ	今とかおあない	
秋祭り	屋台をかついでする。昔は馬尺前からかついでいた。	

神谷アンケート

月 日 曜日

名前

歳

とんど 虫よけ	おみせさんでたいまつを持って行列ついで歩く	※神谷のいいところ
初午(はつうま)		
斎灯(さいと)		
端午の節句(たngoのせっく)		
夏祭り【こども相撲】		
地藏盆(じぞうぼん)		
にじゅうそ		
秋祭り		





神谷アンケート

7月29日土曜日

名前

66歳

とんど	毎年第2日曜日(以前は15日だ、た)に行われてきたのを参加して	※神谷のいいところ
初午(はつうま)	子供すもうを神社に豊納しています	神谷区の文化継承を しているところ
斎灯(さいと)	2月3日(節分)に神社で木を組んで火をたき無病を願っています	
端午の節句(たngoのせっく)	行っていません	小さな村ですが断絶が あると思います。
夏祭り【こども相撲】	ごき子だけ参加しています	
地蔵盆(じぞうぼん)	8/23の夜に子供達がお地蔵様をお祭りしています	
にじゅうそ	い木木はよくわかりませんがごき子だけ参加しています	
秋祭り	毎年参加しています	

神谷アンケート

7月30日日曜日

名前

46歳

とんど ← 方言? <small>標準語は 左義長らしい</small>	以前は1/5に行われていた? 正月のお餅や書き初めを燃やす <small>昔は男の子だけで 餅を集めていた。</small>	※神谷のいいところ
初午(はつうま)	相撲(男の子の祭り?)	人数が少なからうから団結力が ある
斎灯(さいと) ← 方言?	立春(節分)のお祭り	
端午の節句(たngoのせっく) ← ?	最近5/5に花まつりをする ↑ 木々は4/8(米迎の誕生日)	
夏祭り【こども相撲】	? 村、男の子の祭り	
地蔵盆(じぞうぼん)	8/23に行われる 子どものための祭り <small>カウソクを置いて 子どもがお参りして人に赤飯にきりを 渡す</small>	
にじゅうそ	? 二十三日で「にじゅうそ」?	
秋祭り	4/4権を感謝する祭り 屋台(みこ)を各地区が出し参り合わせる。おんや(はつら(サハ)舞)巻替して <small>(おんや)</small> 参る祭	

神谷アンケート

7月29日 土曜日

名前



56歳

とんど	毎月1日には。昔は今と違って15日に深まってた。お正月のおがせりをあつめて燃やします。昔は初めを燃やして高く上げると喜ぶ人が多かった。	※神谷のいいところ
初午(はつうま)	子供相撲をします。僕も子供の頃は1回10円もらってました	いところには村がまとわりあってみんな仲良しです。
斎灯(さいと)	節分の日には。今のとんとを出しているのは当時の祭り保存会の人ががんばりました。「さいと」は「柴灯」と書くとききました。	なま山からの村の景色が好きです。
端午の節句(たngoのせっく)	子供たちは医王寺の花祭りに行きます	皆んぼが皆んぼを知っていて安心して暮らせます。
夏祭り【こども相撲】	山寺の神社でかまこ祈りをします。	天災が少なくて住みやすいです。
地藏盆(じぞうぼん)	昔から8月23日には。昔は小豆や中豆の男子でやりました。上のお堂と下のお堂で打上げ花火でたまたま。あの頃のおにぎりは美味しかった。	小さな村をけいふた村に渡すくらいに活況に色んな活動があります。
にじゅうそ	1回10円でした。	他のとんとに住みたては悪いせん。
秋祭り	昔は10月9、10日にしていた。9日が平日の時は学校は午前中でお休んでいた。今もうちわのたてです。今も10月に冷たいものがなくて。大はいつもぬるいビールと酒のたてました。よくケカもりました。	

神谷アンケート

8月1日 火曜日

名前



51歳

とんど	毎年1月の末2日曜日の夜、お正月の飾りを燃やして無病息災を祈る	※神谷のいいところ
初午(はつうま)	2月の最初の午の日に神社やお稲荷さんにお参りする。子供相撲を奉納。	*世帯数が少ないので、近所の人の顔がわかり、まとまりも良く、仲が良いところ。
斎灯(さいと)	2月3日、節分の日には毎年大歳神社である行事。火を焚いて、無病息災を祈る。	*優しい人が多い。
端午の節句(たngoのせっく)	5月5日、子どもの日。神谷ではおしゃか様の誕生日の「花祭り」を子供たちで行う。	*頼りになる女性が多い。
夏祭り【こども相撲】	7月の末3日曜日、大歳神社で行われる。勝っても負けても1回50円玉をもらえます。	*公民館がきれい。
地藏盆(じぞうぼん)	8月23日に医王寺で行われる。神谷区では小2~中3の男子の親が小豆のおにぎりを作り	*お互い助け合う気持りが強く、村の行事に協力して参加している人が多いい。
にじゅうそ	お参りに来た人たちにあげたりしてやる。男の子たちはお堂のうそそくの番がある。今は3時12月10日、大歳神社で子供相撲が奉納される。	コトで中上になっている。
秋祭り	今は10月の末2日曜日(スベツツの日)に本宮、前日に宵宮を行っている。小2~中3までの子供が屋台に乗って大人の相撲の歌に合わせて、太鼓を叩く。米や麦の豊かな実りと収穫を願う祭り。	

神谷アンケート

7月30日 日曜日

名前

44歳

とんど	今年同じで 書き初めや しめわななどを燃やしたりしている。	※神谷のいいところ  ほどんどが「顔見知り」で、 身近く(=助け合える)関係 が多い。しかもコミュティ であり情報統制しやすい。
初午(はつうま)	正月明けでのおまじの記憶は少ないです。	
斎灯(さいと)	昔はしんどとさいとのちがいが分かりず、火を見に、あつりに行っていた	
端午の節句(たんごのせつこ)	特に思い出なし。	
夏祭り【こども相撲】	取組が12年と相手におこねが多く勝てて記憶は少ない。でも楽しかった。	
地藏盆(じぞうぼん)	お参りに来られ、下の方に赤飯とお渡し。夕方ぐらから花火、お祭りは夜遅まで、 うちでそのころの香をしながら、子供をお参りに連れていってあげた。	
にじゅうそ	特に思い出なし。	
秋祭り	中学3年まで、祭り子として屋敷に乗っていた。練習などは大変だった。こども祭り お参り、お母さんでは楽しかった思い出がある。	

神谷アンケート

7月30日 日曜日

名前

73歳

とんど	昔は小さい子供の少ないお家の方で、とんどの日にあつりにこらわで楽しかった 思い出があります。	※神谷のいいところ  地区が小さいので まとまりやすい。
初午(はつうま)	1年の初めての午の日に、お稲荷さんへの参りを立てて、お煎餅等をお供して、 昔は男の子だけが相撲をしていました。	
斎灯(さいと)	コロナがない時は、うどんやそばを皆んなでいただいて楽しかったです。	
端午の節句(たんごのせつこ)	家で、おかしやうらを食べてました。	
夏祭り【こども相撲】	子供が小さかった時は、夏祭りは、延夏さん以外も、お参り出来る人はお参りに お供の参りかきを供した事もありました。	
地藏盆(じぞうぼん)	地藏盆の日に、自治会のソフトボール大会を奪って、お参りの人が少なかった 試合の会場まで、赤飯のおにぎりを持って行った事もありました。	
にじゅうそ	1年の最後の午の日で、この日お相撲を取っている。	
秋祭り	年々、本宮の日の帰りが遅くなっている。	

神谷アンケート

7月30日 日曜日

名前

48歳

とんど	申し送りや振えられた とんどの作板	※神谷のいいところ  少ない世帯・人数であるが、その第一体感。
初午(はつうま)		
斎灯(さいと)	大人も子供も一緒に削。火のあたりながら、「えび・うどん」を履かました。	
端午の節句(たんごのせつく)		
夏祭り【こども相撲】	平上のお兄ちゃんが年加減をしながらの相撲はほのほのでした	
地藏盆(じぞうぼん)	赤飯のおにぎりを作りました。スウめん流しの準備は大変でした。	
にじゅうそ		
秋祭り	少ない人数でも、屋台を落としてない。心遣いがすばらしい。	

神谷アンケート

7月30日 日曜日

名前

22歳

とんど	正月飾りや木の枝を燃やして寒い冬に暖をとっていた。	※神谷のいいところ  季節の木植物や、生き物の鳴き声などで自然や旬を感じられる。
初午(はつうま)	?	
斎灯(さいと)	「字がきれいになってよかったです」とお願いしてから習字で書いたものを燃やした。	
端午の節句(たんごのせつく)	?	
夏祭り【こども相撲】	小学校の夏、兄のこども相撲について行き、見ていた。	
地藏盆(じぞうぼん)	最近では、流しきうめんがあり、夏を感じられる行事になっていた。	
にじゅうそ	?	
秋祭り	祭りを通して普段関わる事の少ない地域の人と交流が出来た。	

神谷アンケート

7月30日 日曜日

名前



歳

とんど	子供の頃は弁天池の北側土手付近で、小規模で実施していた	※神谷のいいところ 小の村で来と去があり 様々な行事に参加者が 多く良村と思う。
初午(はつうま)	お小使がもらえり〜だった。	
斎灯(さいと)	大きな火が熱かった事を覚えてる	
端午の節句(たngoのせつこ)	あまり記憶はない	
夏祭り【こども相撲】	お盆がもらえり〜だった。	
地蔵盆(じぞうぼん)	赤飯のおにぎり	
にじゅうそ	あまり記憶はない	
秋祭り	昔は2年一渡屋台が出た。(青年団の頃、小学生の子供の屋台を出して、区長宅へ屋台を出した) 伊しと朝晩、お盆に行つた事覚えてる。長い夏が長く昔の記憶がある。	

神谷アンケート

7月31日 月曜日

名前



58歳

とんど	昔は弁天池の土手道でやってた。集めるのは、少年団?	※神谷のいいところ 良くも悪くも田舎
初午(はつうま)		
斎灯(さいと)	うどん、そば等々あった	
端午の節句(たngoのせつこ)		
夏祭り【こども相撲】	男の子のみ。相撲後のお盆がもらえり〜だったと思う	
地蔵盆(じぞうぼん)	餅材料集めやお堂で赤飯握り配り、少年団階級に提灯があった	
にじゅうそ		
秋祭り	20人位で担がっていた。どこでも差していた。福飯(福の)のみ。	

